

保全協議会の今後の方針について

前回協議会のポイント（別紙①～④参照）

- ・ウミガメや永田浜の保全活動は過渡期を迎えている。
- ・課題は大きく分けると2つ → 「外部からの課題」と「内部における課題」。
- ・課題を解決する優先事項としては 内部＞外部 に整理できる。
- ・保全協議会がウミガメや永田浜の保全においてその機能を発揮しきれていたかは懐疑的。
（経緯の振り返り・現状の確認）
- ・関係各位が現状を認識したうえで、保全協議会としての役割を充実させていくべき。

今回協議事項（別紙⑤参照）

- 来年度以降の流れの確認
 - 平成 29 年度における保全協議会の活動の追加
 - ・勉強会（仮称）
 - 回数：2回？
 - 時期：ウミガメシーズン以降？
 - 場所：永田公民館？
 - 内容：プレゼン形式でテーマごとに関係機関で持ち回り発表？
（もしくは事務局が担当？）
 - ＜テーマについて＞
 - ①ウミガメの生態
 - ②ウミガメがおかれている現状と減少の要因
 - ③ウミガメの保護活動と全国の取り組み
 - ④ラムサール条約湿地
 - ⑤永田集落とウミガメの関わり
 - ・現場体験
 - 内容：主にうみがめ館が行っている活動の体験？
 - ＜活動内容＞
 - ・調査活動
 - ・卵の移植
 - ・遮光林手入れ
 - ・帰海補助
- ※＜勉強会（仮称）＞や＜現場体験＞についてはうみがめ館の協力も適に仰ぐ（事務局判断）。すでにうみがめ館には簡単に打診済み。